

『看護研究 3回目』研修会実施報告

日時 : 平成30年8月4日(土)

対象者 : 卒後4年目スタッフ 12名 アドバイザー 2名

参加者数 : 14名

目的 : 看護研究の取り組み方法と実際を知り、看護の創造性を養う事ができる

<講師の紹介>

看護研究1回目に引き続き、山陽学園大学 中木里実先生、関西国際大学 平岡玲子先生にご指導いただきました。

今回の研修は、7月7日(土)に予定していましたが、西日本豪雨災害の影響で日程が変更になったにもかかわらず、予定を変更してお越しいただきました。



<内容>



看護研究3回目は、各グループで作成した研究計画書・倫理審査申請書についてのプレゼンテーションを行い、講師の先生から質疑応答をいただきながら意見交換を行いました。その後各グループに分かれ、講師の先生から具体的な助言をいただきました。

今回の研修では、研究過程のさまざまな問題点に気づくことができ、研究内容を再吟味する機会となりました。

現在、倫理審査申請中のため最終確定ではありませんが、各グループのテーマを紹介します。

- 1 グループ「術後せん妄の予防ケアに関する病棟の実際～アンケートを用いての実態調査～」
- 2 グループ「術前申し送り画面改善による申し送りの効率化～手術室における継続看護のために～」
- 3 グループ「妊娠教育に関わる助産師の性教育に対する認識と指導の実際について」
- 4 グループ「退院支援を行う地域包括ケア病棟の看護師の在り方」
- 5 グループ「患者・家族を対象とした身体拘束に対する説明方法の検討」

これから実際のデータ収集に取りかかることとなります。その際は関係者各位、ご協力のほど宜しくお願い致します。